

2024年度

情報処理科 講義計画集

— 第1学年 —

氏名

船橋情報ビジネス専門学校

〒273-0005 船橋市本町7-12-16

電話:047-425-1051

2024年度 (令和6年度) 年間計画表

前 期					後 期																		
4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
1 月		1 水	水4回	1 土		1 月	月12回	1 木		1 日		1 火	火4回	1 金	金8回	1 日	B検ジョブパス	1 水	元旦	1 土		1 土	
2 火		2 木	木4回	2 日		2 火	火12回	2 金	就職個人面談	2 月		2 水	水4回	2 土		2 月	月10回	2 木		2 日		2 日	
3 水	新入生 オリエンテーション	3 金	憲法記念日	3 月	月8回	3 水	水13回	3 土		3 火		3 木	木3回	3 日	文化の	3 火	火12回	3 金		3 月	月15回	3 月	26卒学内合説
4 木		4 土	みどりの日	4 火	火8回	4 木	体育祭	4 日		4 水	部活動 合同合宿	4 金	金4回	4 月	振替休	4 水	水12回	4 土		4 火	火16回	4 火	就職活動・対策 AP集中対策⑩
5 金	入学式	5 日	こどもの日	5 水	水9回	5 金	金12回	5 月	夏期集中対策①	5 木		5 土		5 火	火8回	5 木	木12回	5 日		5 水	水16回	5 水	就職活動・対策 AP集中対策⑪
6 土		6 月	振替休日	6 木	木9回	6 土		6 火	夏期集中対策②	6 金		6 日		6 水	水8回	6 金	金13回	6 月		6 木	木17回	6 木	卒業生登校日
7 日		7 火	月曜振替4回	7 金	金8回	7 日		7 水	夏期集中対策③	7 土		7 月	月4回	7 木	木8回	7 土		7 火		7 金	就職活動・対策 AP集中対策①	7 金	卒業式
8 月	前期スタート 月1回	8 水	水5回	8 土		8 月	月13回	8 木	夏期集中対策④	8 日		8 火	火5回	8 金	金9回 ひろえぼ	8 日		8 水	水13回	8 土		8 土	
9 火	火1回	9 木	木5回	9 日	科目A免除試験	9 火	火13回	9 金	夏期集中対策⑤	9 月	後期スタート 月1回	9 水	水5回	9 土		9 月	月11回	9 木	木13回	9 日		9 日	
10 水	水1回	10 金	金4回	10 月	月9回	10 水	水14回	10 土		10 火	火1回	10 木	木4回	10 日	予定	10 火	26卒就職G	10 金	金14回	10 月	就職活動・対策 AP集中対策②	10 月	就職活動・対策 AP集中対策⑫
11 木	木1回	11 土	休館日	11 火	火9回	11 木	木14回	11 日	山の日	11 水	水1回	11 金	金5回	11 月	月7回	11 水	26卒就職G	11 土		11 火	建国記念の日	11 火	就職活動・対策 AP集中対策⑬
12 金	金1回	12 日		12 水	水10回	12 金	金13回	12 月	振替休日	12 木	木1回	12 土		12 火	火9回	12 木	26卒就職個人面談	12 日		12 水	就職活動・対策 AP集中対策③	12 水	就職活動・対策 AP集中対策⑭
13 土		13 月	月5回	13 木	木10回	13 土		13 火	受付業務 停止	13 金	金1回	13 日	国家試験	13 水	水9回	13 金	26卒就職個人面談	13 月	成人の日	13 木	卒業研究発表会	13 木	就職活動・対策 AP集中対策⑮
14 日		14 火	火5回	14 金	金9回	14 日		14 水		14 土	土1回	14 月	スポーツの日	14 木	木9回	14 土		14 火	火13回	14 金	卒業研究発表会	14 金	終業式
15 月	月2回	15 水	水6回	15 土	県民の日	15 月	海の日	15 木		15 日		15 火	火6回	15 月	月10回	15 日		15 水	月曜振替12回	15 土		15 土	
16 火	火2回	16 木	木6回	16 日		16 火	火14回	16 金		16 月	敬老の日	16 水	水6回	16 土		16 月	26卒就職個人面談	16 木	木14回	16 日		16 日	
17 水	水2回	17 金	金5回	17 月	月10回	17 水	水15回	17 土		17 火	火2回	17 木	木5回	17 日		17 火	26卒就職個人面談	17 金	金15回	17 月	26卒就職G	17 月	就職活動・対策 AP集中対策⑯
18 木	木2回	18 土		18 火	火10回	18 木	木15回	18 日		18 水	水2回	18 金	金6回	18 月	月8回	18 水	26卒就職個人面談	18 土		18 火	26卒Web面接練習	18 火	就職活動・対策 AP集中対策⑰
19 金	金2回	19 日		19 水	水11回	19 金	金14回	19 月	夏期集中対策⑥	19 木	研修合宿	19 土		19 火	火10回	19 木	26卒就職個人面談	19 日		19 水	就職活動・対策 AP集中対策④	19 水	就職活動・対策 AP集中対策⑱
20 土		20 月	月6回	20 木	木11回	20 土		20 火	夏期集中対策⑦	20 金	研修合宿	20 日		20 水	水10回	20 金	就職対策①	20 月	月13回	20 木		20 木	春分の日
21 日		21 火	火6回	21 金	金10回	21 日		21 水	夏期集中対策⑧	21 土		21 月	月5回	21 木	木10回	21 土		21 火	火14回	21 金	成績発表	21 金	就職活動・対策 AP集中対策⑲
22 月	月3回	22 水	水7回	22 土		22 月	月14回	22 木	夏期集中対策⑨	22 日	秋分の日	22 火	火7回	22 月	月11回	22 日		22 水	水14回	22 土		22 土	
23 火	火3回	23 木	木7回	23 日		23 火	火15回	23 金		23 月	振替休日	23 水	水7回	23 土	勤労感謝の日	23 月	就職対策②	23 木	木15回	23 日	天皇誕生日	23 日	
24 水	水3回	24 金	金6回	24 月	月11回	24 水	水16回	24 土		24 火	火3回	24 木	木6回	24 日		24 火	就職対策③	24 金	金16回	24 月	振替休日	24 月	就職活動・対策 AP集中対策⑳
25 木	木3回	25 土		25 火	火11回	25 木	木16回	25 日		25 水	水3回	25 金	金7回	25 月	月9回	25 水		25 土		25 火	就職活動・対策 AP集中対策⑥	25 火	
26 金	金3回	26 日		26 水	水12回	26 金	金15回	26 月	夏期集中対策⑩	26 木	木2回	26 土	若幸祭前日準備	26 火	火11回	26 木		26 日		26 水	就職活動・対策 AP集中対策⑦	26 水	
27 土		27 月	月7回	27 木	木12回	27 土		27 火	夏期集中対策⑪	27 金	金3回	27 日	若幸祭	27 水	水11回	27 金		27 月	月14回	27 木	球技大会(希望者)	27 木	就職活動・対策 AP集中対策㉑
28 日		28 火	火7回	28 金	金11回	28 日	科目A免除試験	28 月	夏期集中対策⑫	28 土		28 月	若幸祭振替休日	28 水	水11回	28 土		28 日		28 火	就職活動・対策 AP集中対策⑧	28 火	就職活動・対策 AP集中対策㉒
29 月	昭和の日	29 水	水8回	29 土		29 月	月15回	29 木	夏期集中対策⑬	29 日		29 火	若幸祭振替休日	29 水	水12回	29 日		29 月	月15回	29 水	水15回	29 土	
30 火	火4回	30 木	木8回	30 日		30 火	就職個人面談	30 金	夏期集中対策⑭	30 月	月3回	30 水	月曜振替6回	30 土		30 月		30 木	木16回	30 日		30 日	
		31 金	金7回	31 水		31 火	就職個人面談	31 土				31 木	木7回			31 火		31 金	金17回			31 月	就職活動・対策 AP集中対策㉓
検定前: 直前対策実施 (通年)		個人面談 5/20~6/7 科目A免除試験 直前対策:最長19時		5/20~6/7 科目A免除試験 直前対策:最長19時		ITパスポート試験 7/4 体育祭		情報検定 ※スケジュール別途		9/4~9/6 部活動合同合宿 (該当者のみ) 9/19, 20 研修合宿		基本情報 技術者試験 10/26, 27 若幸祭		基本情報 技術者試験 情報セキュリティ マネジメント試験 ※性格適正試験		B検ジョブパス		※SPI模試		Microsoft Excel ※スケジュール別途 2/13, 14 卒業研究発表会 就活登校/合同説明会 ※スケジュール別途		就活登校 ※スケジュール別途 合同企業説明会 ※スケジュール別途	

1学年

本校の教育方針	1
評価について／出欠席ルール	3
FJBネットID登録とメールアドレス	4
実習室・インターネット使用上のルール・マナー	4
個人情報保護に関する基本方針	5
教育目標と検定スケジュール	6
基礎理論	土屋・木村・飯田	7
国家試験対策	土屋・木村・飯田	8
ハードウェア	木村 拓海	9
ソフトウェア	土屋・木村・鵜澤	10
ネットワーク	鵜澤 光希	
データベース	飯田 剛大	
システム設計	土屋 貴大	
ストラテジとマネジメント	木村・土屋	14
セキュリティ	土屋・木村・飯田・鵜澤	15
Web技術演習	小林 信彦	
Java言語演習 I・II	朝賀・鵜澤・土屋・木村	17
アルゴリズムとデータ構造	土屋・木村・飯田	19
就職講座A	田邊・遠藤	20
就職講座B	土屋・木村・飯田	21
SQL演習	土屋・木村・飯田	22
検定対策 I・II	土屋・木村・飯田	23
Office演習 I・II	森廣 永江	
社会人基礎力 I・II	土屋・木村・飯田	27

本校の教育方針

船橋情報ビジネス専門学校
校長 鳥居 高之

教育理念「若者をハッピーに」

これが本校の教育理念です。しかし幸せの形は人によって違いますし、卒業式で「はいどうぞ」と手渡しできるものではありません。在学中だけハッピーならよい訳でもありません。その後こそ重要です。従って私たち教職員の使命とは、学生のみなさんが職業人・社会人として豊かな人生を送るために、その土台作りのお手伝いをするという事になります。あくまでも主役は学生本人です。また社会に出てハッピーになる最低条件としては、大人として自立していなければなりません。その自立に欠かせないのが自律です。自律とは自分と闘うということです。ただ欲望や本能のままに行動するなら動物と同じです。すなわち、「自律 → 自立 → ハッピー」という順番です。私達もみなさんのお手伝いに全力を尽くしますが、自立した大人になる独力を忘れないでください。

勉強は教わるものではない

初年度のみ先生方は手取り足取り親切に教えてくれます。高校までに自分なりの勉強方法が身に付いていない人もいますからです。しかし2年目からは最後まで教えません。「まずは自分で考えてみなさい」と指導します。なぜでしょうか。将来みなさんが就職する会社に、そんな面倒見のよい上司や先輩がいるのでしょうか。みな仕事を抱えています。社会に出れば自分で勉強するのが当たり前です。質問・相談もできますが、自分で調べて考えるのが大原則です。その姿勢を在学中に身に付けてください。2年生になって先生の態度が変わるのはそのためです。急に厳しくなったと勘違いする学生がいますが、みなさんの真の成長を望んでいるのだということに気付いて欲しいです。

またスピード制限もしていません。もし授業の内容を既に理解していると感じる人は申し出てください。指導教員がそう判断すれば別メニューを設定します。クラス全体に歩調を合わせる必要はありません。どんどん前に進んでください！

人間教育の重視

人と接するのが苦手だからコンピュータの仕事に就きたいという学生がいます。大きな勘違いです。コンピュータの向こうには生身の人間がいます。どんなビジネスでも主役は人です。技術や資格ではなく人が仕事をするのです。そして人は一人では生きて行けない生き物です。仕事にせよ日常生活にせよ、常に他者との係わりの中で生きています。本校は単なる就職予備校ではないのです。人間教育を技術教育以上に重視しています。特に次の2つを心がけて欲しいです。

元気に明るく挨拶（あいさつ）

明るい人はみんなに好かれます。明るさの第一歩は、自分から元気に挨拶することです。そのような新入社員は職場でも愛されます。学校の先生方や来校されるお客様に練習台になっていただき、どんどん自分から挨拶しましょう。

3つの守り

本校がとても大切にしている3つの守りとは、「時間を守る、約束を守る、ルールを守る」です。単純ですが、当たり前のことを当たり前にやるのは実は大変なことです。自律できない人は自分と闘えません。つまり自立もできません。

「ルールを守る」に関しては考えて欲しいことがあります。学校生活だけでなく今後の生き方にも係わることです。ルールや法律を守るのは、叱られない罰せられないためでしょうか。世の中を見渡すと、法に触れなければいい、見つからなければいい、と考える者もいます。真の大人になり損ねた、自己中心のニセ大人です。みなさんには、「そんなことをしたら人として、大人として恥ずかしい」と自分を律して行動できる、良識ある職業人・社会人になって欲しいと願っています。以下校内のルールやマナーについて、少し補足しておきます。

通学

- (1) バイク・自動車通学全面禁止。
- (2) 自転車は学生課に登録し所定の駐輪場所を利用。

エレベーター

- (1) 学生はドアの注意書きに従うこと。下りは全面禁止。
- (2) 授業開始前および終了後の5分間は使用禁止。(教員優先)
- (3) 3号館は全面使用禁止。

禁煙

教職員、学生、成年、未成年者にかかわらず校内及び天沼公園・学校周辺は全面禁煙。

※船橋駅前から本校までの路上喫煙は条例により禁止され罰金の対象です

交通ルール

3号館前の大通りは横断絶対禁止。過去に死亡事故あり。横断歩道を使うこと。

重大なルール違反やマナー違反をした場合は、校長面接の上、停学や退学処分になることもありますので、学生の本分を守り勉学や学校生活に励んでください。なお本校では、学生が直接メールを校長宛に出すことができます。何か要望や相談があれば、いつでもメールしてください。 takatorii@mitsuhashi.ac.jp

以上

評価について

- (1) 評価とは成績証明書にS～Dで表現され記載される、その科目の最終的な成績のことを指す。
- (2) 評価は、合計点を用いて算出する。合計点とは、定期試験の素点に授業態度や出席状況、課題提出等の平常点を合計して算出したものである。

評価は以下の基準を用いる。(点または%)

S	90以上
A	80～89
B	50～79
C	40～49
D	39以下

- (3) 評価Dの者は、単位未修得者として処理される。
- (4) 評価Dの者には所定の手続きの後、再試験を実施する。ただし、再試験は特別の場合を除き、レポートに代替する。再試験に合格した場合その科目の評価はCとする。(特別な努力が認められたものは、B評価になることもある。)

GPA(Grade Point Average)

GPAとは、学生の成績の平均値を表したもので学期ごとにGPAを算出する。算出方法は以下の通り科目の評価(S～Dの5段階)に応じて、4.0～0.0の得点(GP)を設定し、科目ごとの得点(GP)に科目の単位数をかけた値を全履修科目分合算し、その値を履修科目の総単位数で割り、少数点第二位を四捨五入したものをGPAとする。

なお、GPAを算出するタイミングは各学期の成績発表時点とする。その時点で評価がDの科目のGPは、後日再試験に合格していても0.0となる。

$GPA = \frac{【GP \times 履修科目の単位数】の合計}{履修科目の総単位数}$

出欠席ルール

- (1) 遅刻3回で欠課1回、欠課6回(1年生はSHR分の遅刻1回を含む)で1日の欠席とみなし、次の条件で換算する
 - ・SHRの遅刻及び欠席で「遅刻1」※SHRは1年生のみ
 - ・授業開始15分までの入室で「遅刻1」
 - ・授業開始15～45分までの入室で「欠課1」
 - ・授業開始45～60分までの入室で「欠課1+遅刻1」
※90分授業の前半45分の欠課1、後半15分までの遅刻1という考え方でカウントする
 - ・授業開始60分以降の入室で「欠課2」
- (2) 年間55日の欠席で進級停止、退学勧告。
- (3) 交通機関の乱れによる遅刻の場合は「遅延証明をもらう」。ただしバスは適用外。

レベル	欠席日数	学校側からのアクション	備考
1	無断欠席	担任が自宅へ電話する	
2	累積10日欠席	自宅へ警告書を郵送する	警告書の郵送は累積10日になった時点で行う。
3	累積25日欠席	校長面接を行う	警告書の郵送は累積25日になった時点で行う。
4	累積40日欠席	校長面接において「退学警告」を行う	保護者同伴で行う。
5	累積50日欠席	校長面接において「最終警告」を行う	同上
6	累積55日欠席	①自宅へ退学勧告通知書を郵送する ②掲示板に名前を張り出す	退学を勧告する。

※「退学勧告」とは・・・1ヶ月以内に退学届けを提出すれば「自主退学」扱いとなります。以後は「強制退学処分」とします。

卒業認定

以下の条件に基づき学校長と教職員による卒業判定会議を経て学校長に認められた者について卒業を認定する

- (1) 履修した全ての科目において単位修得していること
- (2) 原則として各年度において年間55日以上欠席がないこと

FJBネットID登録とメールアドレス

1. ユーザID登録について

本校では、学生1人ひとりにユーザIDを発行しております。このIDでログインすると、学校内のネットワーク環境が利用できます。課題の保存、教材の受け渡し、メールでのコミュニケーションなどに活用して下さい。

2. メールアドレスについて

(1) 科によってメールアドレスが設定されています。

詳細は担任から説明があります。

(2) 「FJBインターネット&イントラネット」画面の「先生へのメール」をクリックして電子メールを活用して下さい。

(3) Webメールでの各個人に与えられている容量は50MBまでです。整理せずに企業からの大切なメールを受理できないケースがありました。不必要なメールはこまめに消去してください。

3. 緊急連絡について

クラスの諸連絡、台風や大雪等の休校等の連絡はグループコミュニケーションツールを使用します。(スマートフォンでも使用可能)各自、常に最新の投稿を確認するようにしてください。投稿を確認していない場合、自己責任です。またツールを使用する環境がない場合は担任に申し出てください。

実習室・インターネット使用上のルール・マナー

1. 実習室の放課後開放について

放課後、午後6時まで実習室を開放します。開放時間中に清掃(清掃時間を入り口に掲示)が入ります。その際は一度退出をお願いします。気持ちよく使えるよう、ご協力ください。

2. 実習室に、飲食物は持ち込んではいけません

パソコンは精密な電子機械です。水、粘着質の糖分、細かなゴミ、小さな金属物などを嫌います。実習室では、飲食行為も持ち込みも、厳禁です。

3. 本校のパソコンに、ゲーム(その他ソフト)をインストールしてはいけません

雑誌の付録のCD-ROMを持ち込んだり、インターネットでダウンロードしたりして、ゲームなどのソフトを本校のパソコンにインストールしてはいけません。

4. USBなどの記憶媒体は必ずウイルスチェックをするようにして下さい

記憶媒体を本校で使用する場合は、監督の先生に申し出てウイルスチェックをしてもらって下さい。その後、許可します。

5. 実習ファイルを保存するための領域をIドライブに用意してあります

必要なファイルのみ保存し、常に整理を心がけてください。ゲームファイル、過度な容量のファイルの保存を禁止します。(卒業研究等、必要な場合を除く)

6. インターネットを利用して、画像、音楽などを不正使用してはいけません

画像・音楽データなどはすべて、著作権があります。さらに、人物の写真には肖像権、アイドルの写真にはパブリシティ権があります。個人的な利用の範囲を超えて、使用してはいけません。HPやブログに貼り付けることはこれらの権利の侵害で、犯罪行為です。

7. インターネットに、非常識な書き込みをしてはいけません

インターネットの世界は、限られた若者のギャグやチャレの場ではありません。善意ある人達の、世界的に開かれた場です。匿名性を利用した破廉恥な書き込みは、卑怯者の行為です。一見匿名ですが、アクセス記録は残りますから、必ず追跡されます。

以上の約束が守れない場合は、指導の対象となります。

また、悪質な場合は、停学・退学を含めた処置を検討します。

学校法人三橋学園 船橋情報ビジネス専門学校
個人情報保護に関する基本方針（プライバシーポリシー）

船橋情報ビジネス専門学校

船橋情報ビジネス専門学校は、教育機関としての社会的責任を果たすために、以下の個人情報保護方針(プライバシーポリシー)を定め、教職員およびその他の関係者に周知徹底し、これを実行します。

1. 個人情報の取り扱いについては、教育上または業務上必要な範囲内において利用目的をできるだけ特定した上で、権限を与えられた者のみに許可します。
2. 個人情報に対する不正アクセス、紛失、破壊、改ざんおよび漏えい等を防止するために、適切な安全対策を講じます。
3. 取得した個人情報は、以下の目的に利用します。
 - (1) 本校の授業、検定試験、行事等の通知・連絡・管理を行うため
 - (2) 就職指導および就職活動支援を行うため
 - (3) 入学相談および募集活動を行うため
 - (4) 入学選考試験業務を行うため
 - (5) 各種証明書等の発行業務を行うため
 - (6) 上記のほか、教育上必要と判断される業務や活動を行うため
4. 本校は以下のような場合において、必要とされる範囲内で個人情報を関係者または第三者に提供もしくは公開することがあります。
 - (1) 在学生の保護者に対し、本人の学業成績、出欠席状況、資格取得状況等の提供
 - (2) 在学生もしくは卒業生の出身校に対し、本人の出欠席状況、資格取得状況、就職状況等の提供
 - (3) 学内での定期試験合格者、資格取得者、就職内定者情報等の公開
 - (4) 就職指導室における、在学生もしくは卒業生の就職先、就職活動記録等の公開
 - (5) 本校への入学希望者に対する、在学生もしくは卒業生の就職または就職内定先情報および、学校案内や本校ホームページに記載されている情報等の提供
 - (6) 上記のほか、本校の教育上もしくは業務上必要と判断される場合
5. 上記以外の利用目的で個人情報を収集する場合は、別途本人および保護者に通知します。
6. 以上のように、本校による関係者および第三者への個人情報の提供は、教育上もしくは業務上必要であると判断した上で行っておりますが、希望しない場合は所定の手続による請求をすることで停止できます。

個人情報の開示、訂正、利用停止の請求および取り扱いに対する問い合わせは下記までお願いします。

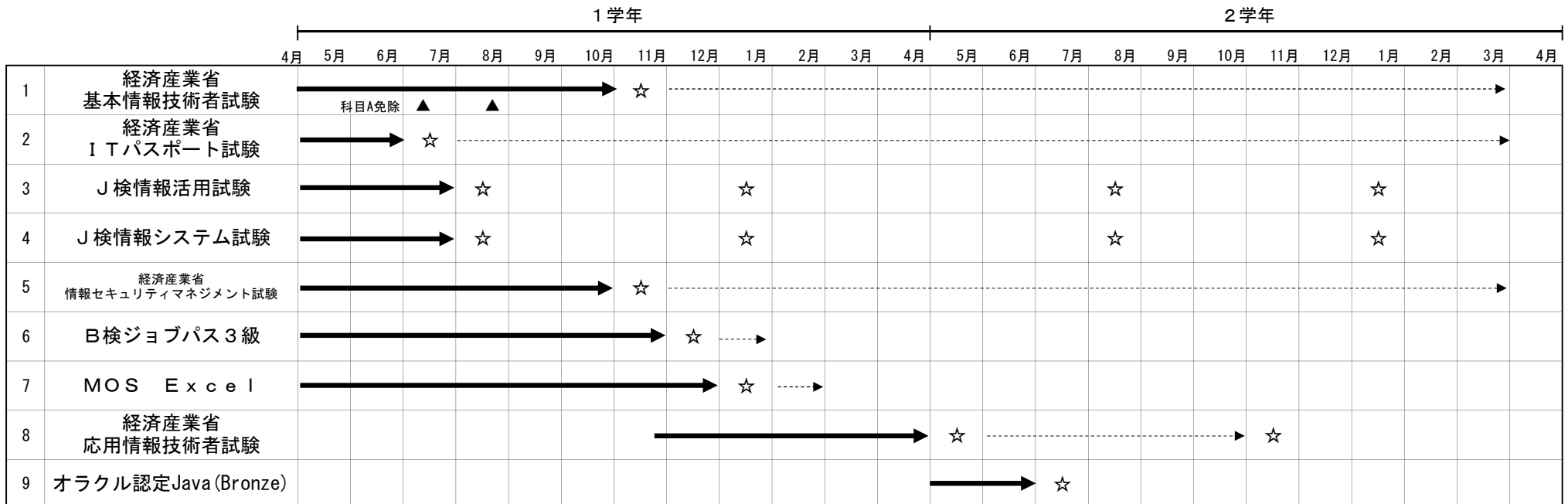
校長 鳥居 高之
047-425-1051
takatorii@mitsuhashi.ac.jp

教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済産業省 基本情報技術者試験の合格 ・ システム構築に必要な技術の習得 (システム設計技法, プログラミング技術, データベース利用技術) ・ 社会人として必要な能力の養成 (コミュニケーション能力, プレゼンテーション能力) ・ システム構築に必要な論理的思考能力の向上
目標資格	<ul style="list-style-type: none"> ・ 経済産業省 基本情報技術者試験 ・ 経済産業省 ITパスポート試験 ・ 経済産業省 情報セキュリティマネジメント試験
進級条件	<ul style="list-style-type: none"> ① 科目A免除試験合格 or ITパスポート or J検 ② B検ジョブパス3級 ③ Javaプログラミング課題
卒業条件	<ul style="list-style-type: none"> ① 情報系 国家試験 ② 他2つ以上の資格

<方針>

- 1年次：資格取得（座学中心）
- ・ 基本情報技術者試験合格を第一目標に、IT基礎知識を身につける
 - ・ 自分で考え、答えを導き出す力を身につける
 - ・ IT業界やその職種について研究し、就職活動に向けての意識づけを行い、働くということについて考える
- 2年次：実務能力養成（コンピュータを使った演習中心）
- ・ 理論と演習を通じて、システムエンジニア・プログラマーの仕事を経験し、仕事に必要な意識や姿勢を考える
 - ・ グループでのシステム開発を通じ、人と共に働く力の向上を図る
- 2年間を通して
- ・ 企業に役立つ高度な人材及び良き社会人の養成を目指す
 - ・ 社会人として必要な論理力、表現力、マナーの定着を図り、実践的にコミュニケーション能力を養う
 - ・ プレゼンテーション能力、目的に応じたドキュメント作成の基礎を習得する
 - ・ 限られた時間の使い方を考え、納期を意識した計画的な作業を実践できるようにする

9



情報処理科	1年
-------	----

【前期】

科目	基礎理論	分類	専門、必修科目
担当	1組:土屋 貴大、2組:木村 拓海、3組:飯田 剛大		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト 令和5-6年度版(FOM出版) 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%		

1. 授業の概要
基本情報技術者試験の合格を見据えた必要かつ十分な「基礎理論」の知識を身につける
2. 授業の目標(検定取得など)
基本情報技術者試験の科目A免除試験に合格する ITパスポート試験に合格する
3. 注意点・要望
各授業内で過去問題やチェックテストを行うため、毎回の授業に集中して取り組むこと また、授業1回あたりの内容にボリュームがあるため、復習には相当量の時間をかけること
4. 関連科目
検定対策 I・II、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	ガイダンス、情報の単位	授業の方針、情報の単位、2進数・8進数・16進数について
2	情報の単位	授業の方針、情報の単位、2進数・8進数・16進数について
3	基数変換(1)	2進数⇔10進数、小数や整数の2進数⇔10進数
4	基数変換(1)	2進数⇔10進数、小数や整数の2進数⇔10進数
5	基数変換(2)	2進数⇔16進数、2進数⇔8進数、文字の表現
6	基数変換(2)	2進数⇔16進数、2進数⇔8進数、文字の表現
7	補数	1の補数、2の補数、2の補数を用いた2進数の変換、2進数nビットで表現できる値
8	補数	1の補数、2の補数、2の補数を用いた2進数の変換、2進数nビットで表現できる値
9	小数点形式、誤差	固定小数点、浮動小数点、誤差、シフト演算
10	小数点形式、誤差	固定小数点、浮動小数点、誤差、シフト演算
11	論理演算	集合、論理演算、ベン図、ビットマスク演算
12	論理演算	集合、論理演算、ベン図、ビットマスク演算
13	情報に関する論理関連項目	論理回路、形式言語、オートマトン、逆ポーランド記法、AI
14	情報に関する論理関連項目	論理回路、形式言語、オートマトン、逆ポーランド記法、AI
15	科目A免除試験対策(1)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
16	科目A免除試験対策(2)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う

備考	
----	--

情報処理科	1年
-------	----

【後期】

科目	国家試験対策	分類	専門、必修科目
担当	1組:土屋 貴大、2組:木村 拓海、3組:飯田 剛大		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト 令和5-6年度版(FOM出版)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	9
	0%	0%	0%	0%	60%	40%	100%		

1. 授業の概要
国家試験に向けての対策を行う 11月の国家試験直前3週間は、過去問題の演習→解説→理解を反復で繰り返す
2. 授業の目標(検定取得など)
国家試験に合格する
3. 注意点・要望
試験合格を目指すのは勿論だが、社会に出てから必要となる基礎知識を確実に身に付けるべく取り組むこと
4. 関連科目
アルゴリズムとデータ構造、ストラテジとマネジメント、ネットワーク、セキュリティ

週	テーマ	内容
1	過去問題対策(1)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
2	過去問題対策(2)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
3	過去問題対策(3)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
4	過去問題対策(4)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
5	過去問題対策(5)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
6	過去問題対策(6)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
7	過去問題対策(7)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
8	過去問題対策(8)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
9	過去問題対策(9)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
10	過去問題対策(10)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
11	受験資格決定	自己採点・試験結果を基に春期の受験資格を決定し、スケジュール・試験概要の確認
12	過去問題対策(11)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
13	過去問題対策(12)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
14	過去問題対策(13)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
15	過去問題対策(14)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
16	過去問題対策(15)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し
17	過去問題対策(16)	本番の試験時間を意識した問題演習及び見直し

備考	
----	--

情報処理科	1年
-------	----

【前期】

科目	ハードウェア	分類	専門、必修科目
担当	木村 拓海		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト 令和5-6年度版(FOM出版) 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%		

1. 授業の概要
基本情報技術者試験の合格を見据えた必要かつ十分な「ハードウェア」の知識を身につける
2. 授業の目標(検定取得など)
「ハードウェア」の基礎知識を押さえ、経済産業省 基本情報技術者試験の科目A免除試験に合格する 「ハードウェア」の基礎知識を押さえ、経済産業省 ITパスポート試験に合格する
3. 注意点・要望
各授業内で過去問題やチェックテストを行うため、毎回の授業に集中して取り組むこと また、授業1回あたりの内容にボリュームがあるため、復習には相当量の時間をかけてください
4. 関連科目
基礎理論、ソフトウェア、データベース、ネットワーク、セキュリティ、アルゴリズムとデータ構造、システム設計、ストラテジとマネジメント、国家試験対策、検定対策Ⅰ・Ⅱ

週	テーマ	内容
1	コンピュータの基本構成、CPU	コンピュータの5大装置、CPUの構成、命令語、命令実行の流れ アドレス指定方式、CPUの性能、CPUアーキテクチャ、CPUの高速化技法
2	コンピュータの基本構成、CPU	コンピュータの5大装置、CPUの構成、命令語、命令実行の流れ アドレス指定方式、CPUの性能、CPUアーキテクチャ、CPUの高速化技法
3	記憶装置、メモリ	記憶階層、メモリの種類、メモリアクセスの高速化技術、キャッシュメモリ メモリインタリーブ、メモリの実行アクセス時間
4	記憶装置、メモリ	記憶階層、メモリの種類、メモリアクセスの高速化技術、キャッシュメモリ メモリインタリーブ、メモリの実行アクセス時間
5	磁気ディスク装置、バス関連	補助記憶装置、磁気ディスク装置の記憶方法、アクセス時間、光ディスク バスの種類・特徴
6	磁気ディスク装置、バス関連	補助記憶装置、磁気ディスク装置の記憶方法、アクセス時間、光ディスク バスの種類・特徴
7	入出力装置、システムの処理、システム構成方式、クライアントサーバ	入出力装置、インタフェースの伝送方式、有線・無線入出力インタフェース、バッチ処理、集中・分散処理、デュプレックス・デュアルシステム、クライアントサーバシステム
8	入出力装置、システムの処理、システム構成方式、クライアントサーバ	入出力装置、インタフェースの伝送方式、有線・無線入出力インタフェース、バッチ処理、集中・分散処理、デュプレックス・デュアルシステム、クライアントサーバシステム
9	RAID、高信頼設計、システムの性能評価、システムの信頼性	RAID0、RAID1、RAID5、フォールトアボイダンス、フォールトトレランス、システムの性能指標、システムの性能評価方法、稼働率、RASIS、バスタブ曲線
10	RAID、高信頼設計、システムの性能評価、システムの信頼性	RAID0、RAID1、RAID5、フォールトアボイダンス、フォールトトレランス、システムの性能指標、システムの性能評価方法、稼働率、RASIS、バスタブ曲線
11	科目A免除試験対策(1)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
12	科目A免除試験対策(2)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
13	科目A免除試験対策(3)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
14	科目A免除試験対策(4)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
15	科目A免除試験対策(5)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
16	科目A免除試験対策(6)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う

備考	カスタマエンジニア経験のある教員が、実務経験を生かして基本情報技術者試験の講義をする
----	--

情報処理科	1年
-------	----

【前期】

科目	ソフトウェア	分類	専門、必修科目
担当	1組:土屋 貴大 2組:木村 拓海 3組:鶴澤 光希		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト 令和5-6年度版(FOM出版) 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%		

1. 授業の概要
基本情報技術者試験の合格を見据えた必要かつ十分な「ソフトウェア」の知識を身につける
2. 授業の目標(検定取得など)
「ソフトウェア」の基礎知識を押さえ、経済産業省 基本情報技術者試験の科目A免除試験に合格する 「ソフトウェア」の基礎知識を押さえ、経済産業省 ITパスポート試験に合格する
3. 注意点・要望
各授業内で過去問題やチェックテストを行うため、毎回の授業に集中して取り組むこと また、授業1回あたりの内容にボリュームがあるため、復習には相当量の時間をかけてください
4. 関連科目
検定対策 I・II、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	オペレーティングシステム(1)	オペレーティング(OS)の種類と特徴、OSの機能、ジョブ管理、タスク管理
2	オペレーティングシステム(1)	オペレーティング(OS)の種類と特徴、OSの機能、ジョブ管理、タスク管理
3	オペレーティングシステム(2)	入出力管理、スプーリング、割込み、仮想記憶、記憶管理、データ管理
4	オペレーティングシステム(2)	入出力管理、スプーリング、割込み、仮想記憶、記憶管理、データ管理
5	開発ツール	言語処理ツール(コンパイラ、インタプリタ)、エミュレータ、シミュレータ
6	開発ツール	言語処理ツール(コンパイラ、インタプリタ)、エミュレータ、シミュレータ
7	ファイルシステム	ファイルシステムの種類と特徴、アクセス手法、ディレクトリ管理、相対パス、絶対パス、ファイル編成
8	ファイルシステム	ファイルシステムの種類と特徴、アクセス手法、ディレクトリ管理、相対パス、絶対パス、ファイル編成
9	オープンソースソフトウェア	OSS の種類と特徴
10	オープンソースソフトウェア	OSS の種類と特徴
11	マルチメディア技術	各種データ形式、CG
12	マルチメディア技術	各種データ形式、CG
13	科目A免除試験対策(1)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
14	科目A免除試験対策(2)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
15	科目A免除試験対策(3)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
16	科目A免除試験対策(4)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う

備考	エンジニア経験のある教員が、実務経験を生かして基本情報技術者試験の講義をする
----	--

情報処理科	1年
-------	----

【前期】

科目	ネットワーク	分類	専門、必修科目
担当	鵜澤 光希		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト 令和5-6年度版(FOM出版) 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%		

1. 授業の概要
経済産業省情報処理技術者試験の合格を見据えた必要かつ十分なネットワークの知識を身に付ける
2. 授業の目標(検定取得など)
(1) ネットワークの基礎知識を押さえ、経済産業省 基本情報技術者試験の科目A免除試験に合格する (2) ネットワークの基礎知識を押さえ、経済産業省 ITパスポート試験に合格する
3. 注意点・要望
予習は必要ありませんが、復習をしっかりと行って完璧な状態で授業に参加してください
4. 関連科目
セキュリティ、ハードウェア、ソフトウェア、検定対策Ⅰ、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	ネットワーク、データの制御	ネットワークの種類、ネットワークの構成要素、伝送制御、伝送制御の種類 メディアアクセス制御方式
2	ネットワーク、データの制御	ネットワークの種類、ネットワークの構成要素、伝送制御、伝送制御の種類 メディアアクセス制御方式
3	通信プロトコル(1)	OSI基本参照モデル
4	通信プロトコル(1)	OSI基本参照モデル
5	通信プロトコル(2)	TCP/IP
6	通信プロトコル(2)	TCP/IP
7	IPアドレス	アドレスクラス、グローバルIPアドレスとプライベートIPアドレス サブネットティング、ルーティング、NATとNAPT
8	IPアドレス	アドレスクラス、グローバルIPアドレスとプライベートIPアドレス サブネットティング、ルーティング、NATとNAPT
9	インターネットへの接続	回線に関する計算、伝送時間、伝送時間の求め方
10	インターネットへの接続	回線に関する計算、伝送時間、伝送時間の求め方
11	科目A免除試験対策(1)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
12	科目A免除試験対策(2)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
13	科目A免除試験対策(3)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
14	科目A免除試験対策(4)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
15	科目A免除試験対策(5)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
16	科目A免除試験対策(6)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う

備考

情報処理科	1年
--------------	-----------

【前期】

科目	データベース	分類	専門、必修科目
担当	飯田 剛大		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト 令和5-6年度版(FOM出版) 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%		

1. 授業の概要
データベースに関する基礎知識の学習
2. 授業の目標(検定取得など)
基本情報技術者試験の科目A免除試験に合格する
3. 注意点・要望
予習は必要ありませんが、復習をしっかりと行って完璧な状態で授業に参加してください
4. 関連科目
SQL演習、検定対策 I・II、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	データベースの利点と設計手法、 データモデル作成、スキーマ	データベースとは、設計(概念・論理・物理)手順、 各種データモデルの作成、データベースの定義(DDL)
2	データベースの利点と設計手法、 データモデル作成、スキーマ	データベースとは、設計(概念・論理・物理)手順、 各種データモデルの作成、データベースの定義(DDL)
3	排他制御と障害回復処理	トランザクション処理、排他制御、障害回復処理
4	排他制御と障害回復処理	トランザクション処理、排他制御、障害回復処理
5	確認テスト、 データベースの種類	第2～3週目の範囲を対象とした確認テスト、 集中・分散データベース、データベースの応用、コミット
6	確認テスト、 データベースの種類	第2～3週目の範囲を対象とした確認テスト、 集中・分散データベース、データベースの応用、コミット
7	関係データベースの基本演算、 テーブル定義・検索、副問合せ	ビュー定義、列の追加・削除・変更・データ型の変更、 データの挿入・削除・更新
8	関係データベースの基本演算、 テーブル定義・検索、副問合せ	ビュー定義、列の追加・削除・変更・データ型の変更、 データの挿入・削除・更新
9	ビュー定義、その他のSQL	ビュー定義、列の追加・削除・変更・データ型の変更、 データの挿入・削除・更新
10	ビュー定義、その他のSQL	ビュー定義、列の追加・削除・変更・データ型の変更、 データの挿入・削除・更新
11	正規化対策	正規化、第1正規化、第2正規化、第3正規化
12	正規化対策	正規化、第1正規化、第2正規化、第3正規化
13	基本情報技術者試験科目A免除対策(1)	過去問題演習、復習
14	基本情報技術者試験科目A免除対策(2)	過去問題演習、復習
15	基本情報技術者試験科目A免除対策(3)	過去問題演習、復習
16	基本情報技術者試験科目A免除対策(4)	過去問題演習、復習

備考	システム開発経験のある教員が、実務経験を生かしてデータベースの講義を行う
-----------	--------------------------------------

情報処理科	1年
-------	----

【前期】

科目	システム設計	分類	専門、必修科目
担当	土屋 貴大		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト 令和5-6年度版(FOM出版) 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%		

1. 授業の概要

情報処理技術者試験の出題分野である「ソフトウェア設計」を通して、IT技術を活用する者に必要な基礎知識を習得していく

2. 授業の目標(検定取得など)

「ソフトウェア設計」の基礎知識を押さえ、経済産業省 基本情報技術者試験の科目A免除試験に合格する
「ソフトウェア設計」の基礎知識を押さえ、経済産業省 ITパスポート試験に合格する

3. 注意点・要望

情報システム開発に関する知識を通して、ITエンジニア或いはIT利用者としての姿勢はどうあるべきか意識してください
そのためにも、復習をしっかりと行って完璧な状態で授業に参加してください

4. 関連科目

基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、データベース、ネットワーク、セキュリティ、アルゴリズムとデータ構造、
ストラテジとマネジメント、国家試験対策、検定対策Ⅰ・Ⅱ

週	テーマ	内容
1	システム開発技術(1)	システム要件定義、システム方式設計、ソフトウェア要件定義
2	システム開発技術(1)	システム要件定義、システム方式設計、ソフトウェア要件定義
3	システム開発技術(2)	ソフトウェア方式設計、ソフトウェア詳細設計、ソフトウェア構築
4	システム開発技術(2)	ソフトウェア方式設計、ソフトウェア詳細設計、ソフトウェア構築
5	システム開発技術(3)	ソフトウェア結合・ソフトウェア適格性確認テスト システム結合・システム適格性確認テスト
6	システム開発技術(3)	ソフトウェア結合・ソフトウェア適格性確認テスト システム結合・システム適格性確認テスト
7	システム開発技術(4)	導入、受入れ支援、保守・廃棄
8	システム開発技術(4)	導入、受入れ支援、保守・廃棄
9	ソフトウェア開発管理技術(1)	開発プロセス・手法
10	ソフトウェア開発管理技術(1)	開発プロセス・手法
11	ソフトウェア開発管理技術(2)	構成管理・変更管理
12	ソフトウェア開発管理技術(2)	構成管理・変更管理
13	基本情報科目A免除試験対策(1)	科目A試験の過去問演習、復習
14	基本情報科目A免除試験対策(2)	科目A試験の過去問演習、復習
15	基本情報科目A免除試験対策(3)	科目A試験の過去問演習、復習
16	基本情報科目A免除試験対策(4)	科目A試験の過去問演習、復習

備考	
----	--

情報処理科	1年
-------	----

【前期】

科目	ストラテジとマネジメント	分類	専門、必修科目
担当	ストラテジ:木村 拓海 マネジメント:土屋 貴大		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト 令和5-6年度版(FOM出版) 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%		

1. 授業の概要
ストラテジとマネジメントに関する基礎知識の学習 基礎知識の応用方法を学習
2. 授業の目標(検定取得など)
基本情報技術者試験の科目A免除試験に合格する 基本情報技術者試験の科目B試験に合格する
3. 注意点・要望
各授業の最後にチェックテストを行うので、各項目の習熟度を確実に把握し、復習を行うこと 授業1回あたりの内容にボリュームがあるため、復習には相当量の時間をかけること
4. 関連科目
基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、データベース、ネットワーク、セキュリティ、アルゴリズムとデータ構造、システム設計、 国家試験対策、検定対策Ⅰ・Ⅱ

週	テーマ	内容
1	プロジェクトマネジメント概要	プロジェクトマネジメントの目的、PMBOK、スコープ管理、WBS
2	日程管理、コスト管理	アローダイアグラム、クリティカルパス、進捗管理、見積り技法
3	リスク管理、サービスマネジメント、システム監査	リスク、リスクの識別、リスク対応計画、ITIL、SLA、システム監査の目的、システム監査人、システム監査の流れ、内部統制
4	経営戦略、情報システム戦略	経営戦略の考え方、企業提携、情報システム戦略の目的・立案の流れ システム管理基準
5	業務改善、システム化企画、さまざまな情報システム	BPR、ソリューションサービス、システム化企画の流れ ビジネスシステム、エンジニアリングシステム、eビジネス
6	企業の組織、財務会計、棚卸評価	企業活動、経営組織、財務諸表、棚卸評価
7	財務分析、損益分岐点分析	財務分析、費用、利益、損益分岐点分析
8	オペレーションズ・リサーチ、 インダストリアルエンジニアリング	オペレーションズ・リサーチ、線形計画法、在庫管理、 インダストリアルエンジニアリング、QC七つ道具、新QC七つ道具
9	科目A免除試験対策(1)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
10	科目A免除試験対策(2)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
11	科目A免除試験対策(3)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
12	科目A免除試験対策(4)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
13	科目A免除試験対策(5)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
14	科目A免除試験対策(6)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
15	科目A免除試験対策(7)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う
16	科目A免除試験対策(8)	基本情報技術者試験の過去問題を使用し、科目A免除試験対策を行う

備考

情報処理科	1年
-------	----

【前期】

科目	セキュリティ	分類	専門、必修科目
担当	1組:土屋 貴大、2組:木村 拓海、3組:飯田 剛大、鶴澤 光希		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト 令和5-6年度版(FOM出版) 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	3
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%		

1. 授業の概要
経済産業省情報処理技術者試験の合格を見据えた必要かつ十分な「セキュリティ」の知識を身に付ける 秋期情報処理技術者試験に向けて、必須分野である情報セキュリティに関する解法ポイントを押さえる
2. 授業の目標(検定取得など)
「セキュリティ」の基礎知識を押さえ、経済産業省 基本情報技術者試験の科目A免除試験と科目B試験に合格する 「セキュリティ」の基礎知識を押さえ、経済産業省 ITパスポート試験に合格する
3. 注意点・要望
予習は必要ありませんが、復習をしっかりと行って完璧な状態で授業に参加してください
4. 関連科目
基礎理論、ハードウェア、ソフトウェア、データベース、ネットワーク、アルゴリズムとデータ構造、システム設計、 ストラテジとマネジメント、国家試験対策、検定対策Ⅰ・Ⅱ

週	テーマ	内容
1	情報セキュリティ(1)	情報セキュリティの目的と考え方
2	情報セキュリティ(2)	情報セキュリティの重要性、脅威
3	情報セキュリティ(3)	脆弱性、攻撃手法、情報セキュリティに関する技術
4	情報セキュリティ管理(1)	リスク分析と評価、情報セキュリティポリシー
5	情報セキュリティ管理(2)	情報セキュリティマネジメントシステム、セキュリティ機関
6	情報セキュリティ技術評価、対策	評価基準、ISO/IEC、セキュリティ対策(人的、技術的、物理的)
7	情報セキュリティ実装技術	セキュリティプロトコル、認証プロトコル、ネットワークセキュリティ
8	総まとめ演習	基本情報技術者試験科目A免除試験対策
9	科目B試験対策(1)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B試験対策
10	科目B試験対策(2)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B試験対策
11	科目B試験対策(3)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B試験対策
12	科目B試験対策(4)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B試験対策
13	科目B試験対策(5)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B試験対策
14	科目B試験対策(6)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B試験対策
15	科目B試験対策(7)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B試験対策
16	科目B試験対策(8)	基本情報技術者試験の過去問題を使用した科目B試験対策

備考

情報処理科	1年
-------	----

【後期】

科目	Web技術演習	分類	専門、必修科目
担当	小林 信彦		
テキスト (出版社)	スラスラわかるHTML&CSSのきほん 第2版(SBクリエイティブ)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	70%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
HTMLとCSSの基本を習得し、webページ作成ができるように演習を行う。
2. 授業の目標(検定取得など)
フォームを含むHTMLの基礎、CSSによる一般的なレイアウト・デザインを身につける。
3. 注意点・要望
テキストに沿った演習の他に課題(自分のwebページ)を作成する。積極的に作成し、確実に提出すること。
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	ガイダンス・HTMLで文書を作成する	授業の進め方と課題の提出方法、評価について HTMLの概要、エディタソフトについて
2	HTMLで文書を作成する	文章をHTMLでマークアップする
3	HTMLで文書を作成する	文章をHTMLでマークアップする
4	HTMLで文書を作成する	画像やリンクを挿入する
5	HTMLで文書を作成する	画像やリンクを挿入する
6	HTMLで文書を作成する	表とリストの作成
7	CSSで文書を装飾する	CSSの概要とページスタイルの調整
8	CSSで文書を装飾する	文書のスタイル調整
9	CSSで文書を装飾する	背景画像と文書のレイアウト
10	CSSで文書を装飾する	基本的な文書のレイアウト
11	CSSで文書を装飾する	基本的な文書のレイアウト
12	フォームの作成	表組みと入力フォームのスタイリング
13	まとめ	まとめとして、自分のwebページを作成する
14	まとめ	まとめとして、自分のwebページを作成する
15	まとめ	まとめとして、自分のwebページを作成する
16	まとめ	まとめとして、自分のwebページを作成する
17	まとめ	まとめとして、自分のwebページを作成する

備考	
----	--

情報処理科	1年
-------	----

【前期】

科目	Java言語演習 I	分類	専門、必修科目
担当	1組、2組:朝賀 勝広 3組:鶴澤 光希		
テキスト (出版社)	わかりやすいJava入門編 第3版(秀和システム)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	35%	35%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
Javaの基本的な使い方や制御構造、開発環境などについて学習する テキストを使用した講義を行い、パソコンでプログラムを組み上げ、課題や筆記の小テストを実施し、知識の定着を図る
2. 授業の目標(検定取得など)
プログラムの作成、解読、エラーやバグなどの解析能力、コメントの付け方や動作確認の観点を身につける
3. 注意点・要望
2年次の授業でもJavaを活用するため、1年次進級課題のプログラムはJavaで作成する 就職後の実務能力に直結することを意識して取り組むこと
4. 関連科目
アルゴリズムとデータ構造

週	テーマ	内容
1	導入	Java言語の特徴、動作環境と開発環境、Eclipseを使ったプログラミング方法、プログラムを記述する際のルール
2	Javaの基本	プログラムの構造、コメントの書き方、文字列の扱い方、画面出力の方法
3	変数	整数、実数、論理値などの基本データ型と、データを扱うための変数
4	式と演算子	加減乗除など代表的な演算子と、インクリメントやデクリメント、演算の優先順位について
5	変数とキーボード入力	変数とキーボードから入力した値を扱う
6	分岐処理(1)	if文を使った分岐処理
7	分岐処理(2)	関係演算子と等価演算子、if~else文
8	分岐処理(3)	if文を使った複数の分岐処理と、switch文による分岐処理
9	繰り返し処理(1)	while文を使った繰り返し処理
10	繰り返し処理(2)	for文を使った繰り返し処理
11	配列(1)	配列の宣言と配列の利用方法
12	配列(2)	繰り返し文と配列を組み合わせたプログラム
13	配列(3)	繰り返し文と配列を組み合わせたプログラム
14	配列(4)	多次元配列
15	配列(5)	多次元配列
16	配列(6)	多次元配列

備考	システム開発経験のある教員が、実務経験を生かしてプログラミングの講義を行う
----	---------------------------------------

情報処理科	1年
-------	----

【後期】

科目	Java言語演習Ⅱ	分類	専門、必修科目
担当	1組:土屋 貴大 2組:木村 拓海 3組:鶴澤 光希		
テキスト (出版社)	わかりやすいJava入門編 第3版(秀和システム)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	3
	0%	0%	35%	35%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
オブジェクト指向プログラミングについて学び、総合演習として進級課題となるアプリケーションの開発を行う 基本情報技術者試験に向けたアルゴリズム中心の講義も行う。
2. 授業の目標(検定取得など)
オブジェクト指向を学び、アルゴリズムの考え方を活用して、自分でアプリケーション開発(進級課題)が行える力を身につける
3. 注意点・要望
2年次の授業でもJavaを活用するため、1年次進級課題のプログラムはJavaで作成する 就職後の実務能力に直結することを意識して取り組むこと
4. 関連科目
アルゴリズムとデータ構造

週	テーマ	内容
1	クラス	オブジェクト指向の考え方、クラスの構造と作成方法
2	フィールド	フィールドの概要について
3	メソッド	メソッドの構造と作成方法、メソッドの呼び出し方を学習する
4	インスタンス	クラスとインスタンス生成について
5	メソッドの引数	メソッドの引数について
6	メソッドの戻り値	メソッドの戻り値について
7	カプセル化(1)	カプセル化の目的とJavaでの実装方法を学習する
8	カプセル化(2)	ゲッターセッターの詳細と自動生成方法について
9	クラス図(1)	クラス図の見方と、クラス図を元にしたプログラムの作成
10	クラス図(2)	クラス図の見方と、クラス図を元にしたプログラムの作成
11	コンストラクタ(1)	コンストラクタの概要と使い方について
12	コンストラクタ(2)	コンストラクタの概要と使い方について
13	インスタンス配列	インスタンスの考え方
14	アプリケーション作成演習(1)	Java言語を用いたアプリケーション開発(進級課題)
15	アプリケーション作成演習(2)	Java言語を用いたアプリケーション開発(進級課題)
16	アプリケーション作成演習(2)	Java言語を用いたアプリケーション開発(進級課題)
17	アプリケーション作成演習(3)	Java言語を用いたアプリケーション開発(進級課題)

備考	システム開発経験のある教員が、実務経験を生かしてプログラミングの講義を行う
----	---------------------------------------

科目	アルゴリズムとデータ構造	分類	専門、必修科目
担当	1組:土屋 貴大 2組:木村 拓海 3組:飯田 剛大		
テキスト (出版社)	イラストでわかる! 入門のための基本情報技術者【科目B】アルゴリズム対策 トレーニング問題集		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	5
	0%	0%	50%	0%	20%	30%	100%		

1. 授業の概要

アルゴリズムとはコンピュータへ作業手順を表現するためのものであり、その考え方を扱うデータ構造とともに要点を押さえる秋期情報処理技術者試験に向けて、必須分野であるアルゴリズムに関する解法ポイントを押さえる

2. 授業の目標(検定取得など)

経済産業省 基本情報技術者試験に合格する
経済産業省 ITパスポート試験に合格する

3. 注意点・要望

単なるパターン学習ではなく、処理の一つ一つを紙上でデータを動かすことで処理内容の理解に努めること
紙上でのデータの流れを理解した上で、どのような処理手順が必要なのかを自問しながら学習すること

4. 関連科目

Java言語演習、ハードウェア、ソフトウェア、検定対策 I, II、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	アルゴリズム(1)	基礎と流れ図
2	アルゴリズム(2)	変数と代入文 分岐
3	アルゴリズム(3)	配列・リスト 繰返し
4	アルゴリズム(4)	最大値 最小値 合計 平均
5	アルゴリズム(5)	線形探索 2分探索
6	アルゴリズム(6)	データ構造 整列法 2重ループ
7	基本情報技術者試験科目A免除対策	過去問題演習、復習
8	基本情報技術者試験科目A免除対策	過去問題演習、復習
9	疑似言語(1)	基礎構文 算術演算 変数 比較演算 論理演算 和・積演算 (問題演習)
10	疑似言語(2)	if文 for文 while文 do-while文 if+繰りかえし (問題演習)
11	疑似言語(3)	配列 繰返しと配列 2次元配列 (問題演習)
12	疑似言語(4)	関数(引数・戻り値) 大域変数 (問題演習)
13	疑似言語(5)	オブジェクト指向 クラス インスタンス (問題演習)
14	基本情報技術者試験科目B対策	問題演習、復習
15	基本情報技術者試験科目B対策	問題演習、復習
16	基本情報技術者試験科目B対策	問題演習、復習

備考

情報処理科	1年
-------	----

【後期】

科目	就職講座A	分類	教養、必修科目
担当	田邊 悦子・遠藤 幹雄		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	30%	40%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
就職活動の流れを知り、自己分析や企業研究ができる力を身につける 内定をいただくためにやるべきこと、必要なことを考える
2. 授業の目標(検定取得など)
①社会人としての伸びしろが感じられる自己PRの完成 ②企業を選びに必要な視点の整理 ③就職活動における基本マナーの習得
3. 注意点・要望
授業課題は、①履歴書 ②メール ③面接対策シート ④イベントのレポート で評価 就職活動は教室で完結するものではないので、実際の活動(イベントへの参加)も授業の一環として進めていきます
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	就職活動の流れ	ともに働きたい人、新卒の就職活動、新卒採用の特権、就職活動スケジュール 授業の目的、就職指導室の利用、Teamsの利用、学科担当教員の紹介
2	企業が求める人物像	グループディスカッションのポイントと実践、専門学校生の武器 就職活動用フォルダ作成
3	内定までの流れ&エントリーの準備	内定までの流れ、就職活動支援サイト、自己分析 求人票検索システムの使い方①、就職活動時の手続き
4	企業とのやりとり	主な提出書類、方法、注意事項、メールの基本、電話の基本
5	履歴書の作成	書き方のポイント、企業への提出方法、学校指定フォーマットでの履歴書作成
6	企業研究のポイント(1)	業種動向、企業の取引形態、職種とは、業界・企業研究の資料、企業名称
7	企業研究のポイント(2)	求人票、自己申告書・青少年雇用情報シート、自己申告書
8	企業研究のポイント(3)	Slerの分類、Slerの職種、IT系以外の職種
9	面接対策(1)	メラビアン法の法則、ハロー効果、面接対策シートの作成、Web面接に必要な準備
10	面接対策(2)	挨拶の基本、身だしなみ、Web面接対策動画の視聴
11	面接対策(3)	面接試験の種類、面接の流れと評価のポイント、面接試験前・本番・終了後 Web面接練習の準備(面接対策シートの活用)
12	求職登録、就活支援サイトの活用 学校求人の確認	就職先の希望、必要となる条件等のアンケート、2025卒向け求人票の確認 就活支援サイト「マイナビ」の使い方、志望動機のポイント
13	目指す方向性 これまでの準備と成果物の確認	目指す社会人像・エンジニア像、就職活動の方向性 履歴書・自己PR・ガクチカのブラッシュアップ(面接対策シートの活用)
14	志望動機の作成	企業研究の目的とポイント、企業研究と併せて必要なこと
15	春休み期間中の活動に向けて(1)	学校求人の活用方法(システム、チラシ、指導室応募求人) 今後の就活イベントの案内、面接練習
16	春休み期間中の活動に向けて(2)	エントリー、提出物の準備、面接対策、面接練習等
17	後期試験期間	

備考	IT関連の業務経験と就職指導経験のある職員(職業紹介責任者)が、その経験に基づいて、就職活動全般及び個別の事例について、講義と指導を行う
----	--

情報処理科	1年
-------	----

【後期】

科目	就職講座B	分類	教養、必修科目
担当	1組:土屋 貴大 2組:木村 拓海 3組:飯田 剛大		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	20%	30%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
就職活動の進め方、履歴書作成、企業研究、電話・電子メールの活用と注意事項、求人の確認と応募の仕方 自己分析、自己PRの作成、面接における質問対応といった対策を行う
2. 授業の目標(検定取得など)
自分の進むべき道(希望職種、勤務地等の条件)を明確にし、活発に就職活動をするための準備及び求人への応募を行う 就職力(自ら考え判断し、調べる術)を培い、自ら企業に働きかけることができるようにする
3. 注意点・要望
公欠届、会社訪問カードや受験報告書等の書類の管理・提出はルールに従い、記入漏れや提出遅延なく行うこと 活動管理を行うため、応募企業の資料をファイリングできるようにファイルを準備し、丁寧かつ綺麗に管理すること
4. 関連科目
就職講座A、検定対策Ⅱ

週	テーマ	内容
1	就職活動の進め方	本校における就職活動時における公欠のルール、就職指導室の利用方法など
2	就職活動の進め方	本校における就職活動時における公欠のルール、就職指導室の利用方法など
3	自己分析	過去・現在・未来の自分を考え思い描き、自分自身の特性を知る
4	自己分析	過去・現在・未来の自分を考え思い描き、自分自身の特性を知る
5	履歴書(1)	履歴書の作成(得意な科目、長所、クラブ活動、趣味・特技)
6	履歴書(1)	履歴書の作成(得意な科目、長所、クラブ活動、趣味・特技)
7	履歴書(2)	履歴書の作成(清書)
8	履歴書(2)	履歴書の作成(清書)
9	企業研究	仕事の選び方(仕事選びの基準、職種研究、業界研究) 会社の選び方(求人票・会社四季報からの情報、会社案内、属性の検討)
10	企業研究	仕事の選び方(仕事選びの基準、職種研究、業界研究) 会社の選び方(求人票・会社四季報からの情報、会社案内、属性の検討)
11	企業へのアクセス	電話によるアクセス(電話対応の基本、電話アクセス事例) 電子メールによるアクセス(ビジネスメールの形式、ビジネスメール事例)
12	企業へのアクセス	電話によるアクセス(電話対応の基本、電話アクセス事例) 電子メールによるアクセス(ビジネスメールの形式、ビジネスメール事例)
13	企業説明会・インターンシップ(1)	企業説明会・インターンへの応募、企業研究、志望動機・質問の作成
14	企業説明会・インターンシップ(1)	企業説明会・インターンへの応募、企業研究、志望動機・質問の作成
15	面接試験 企業説明会・インターンシップ(2)	面接試験のねらい、面接試験の心構え、面接試験の形態と対策の実施 企業説明会・インターンシップへの応募、企業研究、志望動機・質問の作成
16	面接試験 企業説明会・インターンシップ(2)	面接試験のねらい、面接試験の心構え、面接試験の形態と対策の実施 企業説明会・インターンシップへの応募、企業研究、志望動機・質問の作成
17	面接試験 企業説明会・インターンシップ(2)	面接試験のねらい、面接試験の心構え、面接試験の形態と対策の実施 企業説明会・インターンシップへの応募、企業研究、志望動機・質問の作成

備考	企業人経験と就職指導実績のある教員が、その経験を活かして就職活動の準備に係るを指導する
----	---

情報処理科	1年
-------	----

【後期】

科目	SQL演習	分類	専門、必修科目
担当	1組:土屋 貴大 2組:木村 拓海 3組:飯田 剛大		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料	プリント		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	1
	0%	0%	70%	0%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
データベースに関する基礎知識の学習 基礎知識の応用方法を学習
2. 授業の目標(検定取得など)
オラクルiSQLを用いて、実際にSQLを考え必要なデータベース管理をできるようにしていく。
3. 注意点・要望
2年次での卒業研究に活用するため、課題のSQL文を理解し、管理できるようにすること。
4. 関連科目
検定対策 I・II、国家試験対策

週	テーマ	内容
1	SQL対策(1)	テーブル定義、テーブル検索
2	SQL対策(1)	テーブル定義、テーブル検索
3	SQL対策(2)	UPDATE文 DELETE文 INSERT
4	SQL対策(2)	UPDATE文 DELETE文 INSERT
5	SQL対策(3)	WHERE句 LIKE演算子 BETWEEN演算子 IN演算子
6	SQL対策(3)	WHERE句 LIKE演算子 BETWEEN演算子 IN演算子
7	SQL対策(4)	DISTINCT ORDER BY
8	SQL対策(4)	DISTINCT ORDER BY
9	SQL対策(5)	CASE演算子 さまざまな関数
10	SQL対策(5)	CASE演算子 さまざまな関数
11	SQL対策(6)	集計関数(SUM MAX MIN AVG COUNT) GROUP BY句 HAVING句
12	SQL対策(6)	集計関数(SUM MAX MIN AVG COUNT) GROUP BY句 HAVING句
13	SQL対策(7)	課題演習
14	SQL対策(7)	課題演習
15	SQL対策(8)	課題演習
16	SQL対策(8)	課題演習
17	SQL対策(8)	課題演習

備考	
----	--

情報処理科	1年
-------	----

【前期】

科目	検定対策 I	分類	専門、必修科目
担当	1組:土屋 貴大 2組:木村 拓海 3組:飯田 剛大		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト 令和5-6年度版(FOM出版) 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	6
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%		

1. 授業の概要
基本情報技術者試験の科目A免除試験、ITパスポート試験、J検に合格する為の受験テクニックを学習
2. 授業の目標(検定取得など)
基本情報処理技術者試験の科目A免除試験、ITパスポート試験、J検に合格する
3. 注意点・要望
各試験についての確認テストを毎授業行うので、入念に準備をしておくこと 各試験については並行しての受験となる為、スケジュール管理を徹底すること
4. 関連科目
ハードウェア、ソフトウェア、ストラテジとマネジメント、データベース、システム設計 I、 ネットワークとセキュリティ、アルゴリズムとデータ構造、検定対策 II

週	テーマ	内容
1	基礎理論	授業の方針、情報の単位、2進数・8進数・16進数、基数変換 補助単位、論理演算
2	基本情報技術者試験 科目A免除対策(1)	前週講義分の確認テスト、復習
3	基本情報技術者試験 科目A免除対策(2)	前週講義分の確認テスト、復習
4	基本情報技術者試験 科目A免除対策(3)	前週講義分の確認テスト、復習
5	基本情報技術者試験 科目A免除対策(4)	前週講義分の確認テスト、復習
6	基本情報技術者試験 科目A免除対策(5)	前週講義分の確認テスト、復習
7	基本情報技術者試験 科目A免除対策(6)	前週講義分の確認テスト、復習
8	基本情報技術者試験 科目A免除対策(7)	前週講義分の確認テスト、復習
9	ITパスポート試験対策(1)	前週講義分の確認テスト、復習
10	ITパスポート試験対策(2)	前週講義分の確認テスト、復習
11	ITパスポート試験対策(3)	前週講義分の確認テスト、復習
12	ITパスポート試験対策(4)	前週講義分の確認テスト、復習
13	ITパスポート試験対策(5)	前週講義分の確認テスト、復習
14	ITパスポート試験対策(6)	前週講義分の確認テスト、復習
15	ITパスポート試験対策(7)	前週講義分の確認テスト、復習
16	ITパスポート試験対策(8)	前週講義分の確認テスト、復習

備考	
----	--

情報処理科	1年
--------------	-----------

【後期】

科目	検定対策Ⅱ	分類	専門、必修科目
担当	1組:土屋 貴大 2組:木村 拓海 3組:飯田 剛大		
テキスト (出版社)	よくわかるマスター 基本情報技術者試験 対策テキスト 令和5-6年度版(FOM出版) 基本情報技術者試験(本校オリジナル冊子)		
参考資料	プリント教材		

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	6
	0%	0%	0%	50%	30%	20%	100%		

1. 授業の概要
基本情報技術者試験の科目B試験、情報検定情報システム試験、MOS試験Excel2019、SPI、B検
2. 授業の目標(検定取得など)
基本情報技術者試験の科目B試験、情報検定情報システム試験、MOS試験Excel2019、B検に合格する
3. 注意点・要望
複数の資格試験対策を並行して行います。バランス良く学習を行い、復習にも力を入れてください。
4. 関連科目
ハードウェア、ソフトウェア、ストラテジとマネジメント、データベース、システム設計Ⅰ・Ⅱ、国家試験対策、Java言語演習Ⅰ・Ⅱ、ネットワーク、セキュリティ、アルゴリズムとデータ構造、Office演習Ⅰ・Ⅱ、就職講座A、就職講座B、検定対策Ⅰ

週	テーマ	内容
1	基本情報技術者試験 科目B試験対策(1)	過去問題演習、復習
2	基本情報技術者試験 科目B試験対策(2)	過去問題演習、復習
3	基本情報技術者試験 科目B試験対策(3)	過去問題演習、復習
4	基本情報技術者試験 科目B試験対策(4)	過去問題演習、復習
5	基本情報技術者試験 科目B試験対策(5)	過去問題演習、復習
6	基本情報技術者試験 科目B試験対策(6)	過去問題演習、復習
7	基本情報技術者試験 科目B試験対策(7)	模擬問題演習、復習
8	基本情報技術者試験 科目B試験対策(8)	模擬問題演習、復習
9	基本情報技術者試験 科目B試験対策(9)	模擬問題演習、復習
10	基本情報技術者試験 科目B試験対策(10)	模擬問題演習、復習
11	J検・MOS・漢字検定対策(1)、 SPI対策(1)	模擬問題演習、復習
12	J検・MOS・漢字検定対策(2)、 SPI対策(2)	模擬問題演習、復習
13	J検・MOS・漢字検定対策(3)、 SPI対策(3)	模擬問題演習、復習
14	J検・MOS・漢字検定対策(4)、 SPI対策(4)	模擬問題演習、復習
15	J検・MOS・漢字検定対策(5)、 SPI対策(5)	模擬問題演習、復習
16	J検・MOS・漢字検定対策(6)、 SPI対策(6)	模擬問題演習、復習
17	J検・MOS・漢字検定対策(7)、 SPI対策(7)	模擬問題演習、復習

備考	
-----------	--

情報処理科	1年
-------	----

【前期】

科目	Office演習 I	分類	専門、必修科目
担当	森廣 永江		
テキスト (出版社)	Microsoft Office Specialist Excel 365&2019 対策テキスト& 問題集 (FOM出版)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	40%	30%	0%	30%	100%		

1. 授業の概要
表計算ソフトExcelを基礎から学び、資格の取得を目指す
2. 授業の目標(検定取得など)
マイクロソフトオフィススペシャリスト Excel2019
3. 注意点・要望
・単に操作を覚えるのではなく、必要な場面で使える様に知識の定着を図ること ・毎回テキストを忘れないようにすること
4. 関連科目

週	テーマ	内容
1	ガイダンス	MOS試験について、成績評価について、環境の確認、EXCELの基本
2	Excel2019 演習1	セルやセル範囲のデータの管理1
3	Excel2019 演習2	セルやセル範囲のデータの管理2
4	Excel2019 演習3	セルやセル範囲のデータの管理3
5	Excel2019 演習4	出題範囲2 確認問題
6	Excel2019 演習5	ワークシートやブックの管理1
7	Excel2019 演習6	ワークシートやブックの管理2
8	Excel2019 演習7	出題範囲1 確認問題
9	Excel2019 演習8	テーブルとテーブルのデータの管理1
10	Excel2019 演習9	テーブルとテーブルのデータの管理2
11	Excel2019 演習10	出題範囲3 確認問題
12	Excel2019 演習11	数式や関数を使用した演算の実行1
13	Excel2019 演習12	数式や関数を使用した演算の実行2
14	Excel2019 演習13	数式や関数を使用した演算の実行3
15	Excel2019 演習14	数式や関数を使用した演算の実行4
16	Excel2019 演習15	出題範囲4 確認問題

備考	システムエンジニア、Officeインストラクターとして様々な年齢層に向けた指導を行ってきた教員が、MOSの資格取得とともに実務で使えるEXCELの知識を講義する。
----	---

情報処理科	1年
-------	----

【後期】

科目	Office演習Ⅱ	分類	専門、必修科目
担当	森廣 永江		
テキスト (出版社)	Microsoft Office Specialist Excel 365&2019 対策テキスト& 問題集 (FOM出版)		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	40%	0%	30%	30%	100%		

1. 授業の概要

表計算ソフトExcelを基礎から学び、資格の取得を目指す

2. 授業の目標(検定取得など)

マイクロソフトオフィススペシャリスト Excel2019

3. 注意点・要望

- ・繰り返し問題演習を行うこと
- ・毎回テキストを忘れないようにすること

4. 関連科目

検対策Ⅱ

週	テーマ	内容
1	Excel2019 演習1	グラフの管理1
2	Excel2019 演習2	グラフの管理2
3	Excel2019 演習3	出題範囲5 確認問題
4	Excel2019 演習4	模擬試験プログラムを利用した試験対策1
5	Excel2019 演習5/画像処理の基礎1	模擬試験プログラムを利用した試験対策2/画像データの種類の編集、リサイズとトリミング
6	Excel2019 演習6/画像処理の基礎2	模擬試験プログラムを利用した試験対策3/画像の補正、レイヤーの仕組み、範囲選択
7	Excel2019 演習7/画像処理の基礎3	模擬試験プログラムを利用した試験対策4/範囲選択、簡単な合成
8	Excel2019 演習8/画像処理の基礎4	模擬試験プログラムを利用した試験対策5/画像データ編集
9	Excel2019 演習9	模擬試験プログラムを利用した試験対策6
10	Excel2019 演習10	模擬試験プログラムを利用した試験対策7
11	Excel2019 演習11	模擬試験プログラムを利用した試験対策8
12	Excel2019 演習12	模擬試験プログラムを利用した試験対策9
13	Excel2019 演習13	模擬試験プログラムを利用した試験対策10
14	Excel2019 演習14	模擬試験プログラムを利用した試験対策11
15	Excel2019 演習15	模擬試験プログラムを利用した試験対策12
16	Excel2019 演習16	模擬試験プログラムを利用した試験対策13
17	Excel2019 演習17	模擬試験プログラムを利用した試験対策14

備考	システムエンジニア、Officeインストラクターとして様々な年齢層に向けた指導を行ってきた教員が、MOSの資格取得とともに実務で使えるEXCELの知識を講義する。
----	---

情報処理科	1年
-------	----

【前期】

科目	社会人基礎力 I	分類	教養、必修科目
担当	1組:土屋 貴大 2組:木村 拓海 3組:飯田 剛大		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事(特に学園祭)の運営により養う
2. 授業の目標(検定取得など)
リーダー・フォロワー、提案、許容、協調等の資質向上
3. 注意点・要望
「モメていない」=真剣ではない証拠、「失敗していない」=チャレンジしていない証拠 社会に出る前に真の協調性を学ぶ
4. 関連科目
ビジネス関連科目全て

週	テーマ	内容
1	社会人基礎力とは	社会人基礎力入門書を読み、今後の成長展望を立てる
2	能力の実践(1)	企画を立てる
3	能力の実践(2)	予算案を作成する
4	能力の実践(3)	企画・予算・収支を発表する
5	社会人基礎力評価(1)	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
6	能力の実践(4)	各セクションに分かれて活動
7	能力の実践(5)	各セクションに分かれて活動
8	能力の実践(6)	各セクションに分かれて活動
9	社会人基礎力評価(2)	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
10	能力の実践(7)	各セクションの発表
11	能力の実践(8)	各セクションに分かれて活動
12	能力の実践(9)	各セクションに分かれて活動
13	能力の実践(10)	各セクションに分かれて活動
14	社会人基礎力評価(3)	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
15	前期のまとめ後期に向けて	前期の内容を振り返り、後期に向けての目標を設定する
16	前期のまとめ後期に向けて	前期の内容を振り返り、後期に向けての目標を設定する

備考	社会人経験のある教員が、その経験を活かして社会人に必要な力の向上を指導する
----	---------------------------------------

情報処理科	1年
-------	----

【後期】

科目	社会人基礎力Ⅱ	分類	教養、必修科目
担当	1組:土屋 貴大 2組:木村 拓海 3組:飯田 剛大		
テキスト (出版社)	なし		
参考資料			

評価基準	期末試験	レポート	授業課題	小テスト	目標資格	平常点	合計	単位数	2
	0%	0%	50%	0%	0%	50%	100%		

1. 授業の概要
前期の内容を踏まえ、経済産業省が提唱する社会人基礎力を、様々な学校行事(特に学園祭)の運営により養う
2. 授業の目標(検定取得など)
リーダー・フォロワー、提案、許容、協調、プレゼンテーション等の資質向上
3. 注意点・要望
「モメていない」=真剣ではない証拠、「失敗していない」=チャレンジしていない証拠 社会に出る前に真の協調性を学ぶ
4. 関連科目
ビジネス関連科目全て

週	テーマ	内容
1	能力の実践(11)	各セクションに分かれて活動
2	能力の実践(12)	各セクションに分かれて活動
3	能力の実践(13)	各セクションに分かれて活動
4	社会人基礎力評価(4)	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
5	能力の実践(14)	各セクションの発表
6	能力の実践(15)	各セクションに分かれて活動
7	能力の実践(16)	各セクションに分かれて活動
8	社会人基礎力評価(5)	12の能力要素を自己評価し、これからの活動に役立てる
9	振り返り	成功・失敗の要因、次年度への改善、各セクション発表
10	チームワーク(1)	発信力をつけるには
11	チームワーク(2)	傾聴力をつけるには
12	チームワーク(3)	柔軟性をつけるには
13	チームワーク(4)	状況把握力をつけるには
14	チームワーク(5)	規律性をつけるには
15	チームワーク(6)	ストレスコントロールをつけるには
16	チームワーク(7)	ストレスコントロールをつけるには
17	社会人基礎力まとめ	次年度への成長展望

備考	社会人経験のある教員が、その経験を活かして社会人に必要な力の向上を指導する
----	---------------------------------------

